

平成 28 年度

公立大学法人
和歌山県立医科大学大学院医学研究科（博士課程）

学 生 募 集 要 項



公立大学法人和歌山県立医科大学大学院医学研究科

和歌山県立医科大学大学院医学研究科博士課程 アドミッションポリシー

本学大学院医学研究科（博士課程）は、高度先進的かつ横断的な大学院教育による先端医学研究の推進を通じて、自立して研究を行える高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識をもつ医学研究者や高度医療職業人の育成を目的とします。

そこで、医学研究科（博士課程）では、以下のような学生を求めます。

- 1 医学・医療に関する高い関心と研究への強い意欲をもつ人
- 2 医学・医療の発展と社会福祉の向上に熱意をもつ人
- 3 地域医療への貢献を研究的視点にもつ人

1 入学期日

- (1) 入学期日は、平成28年4月1日付けとする。

2 募集人員

専攻	領域	主 科 目（研究分野）	募集人員	
地域医療 総合医学	地域保健医学	環境保健予防医学、公衆衛生学、地域医療マネジメント学	14	
	総合医療医学	放射線医学、臨床病態解析学、精神医学、リハビリテーション医学 麻酔科学、救急・集中治療医学、総合内科学、法医学 医学教育・集団医療学		
	生殖発達医学	生殖病態医学、発達小児医学		
	緩和医療専門 医養成コース	緩和医療学		
構造機能 医学	形態機能医学	生体情報形態学、分子機能形態学、システム神経生理学、統合分子生理学 機能調節薬理学	10	42
	細胞分子機能 医学	代謝生物化学、細胞分子生物学、発生制御医学、分子免疫学 生体分子解析学、病原微生物学、分子神経科学		
器官病態 医学	器官病態内科学	糖尿病・内分泌代謝内科学、消化器内科学、呼吸器内科学、循環器内科学 神経内科学、腎臓・体内環境調節内科学、血液内科学	18	
	器官病態外科学	胸部外科学、消化器外科学、脳神経外科学、整形外科学、脊椎脊髄病学 泌尿器科学、形成外科学		
	感覚病態学	視覚病態眼科学、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、口腔顎顔面外科学 皮膚病態学		
	病理病態学	分子病理学、人体病理学		
	がん薬物療法 専門医養成 コース	腫瘍内科学		

注1. 修業年限は4年を標準とする。

注2. 入学出願者は、主科目（研究分野）を2つまで選択することができる。

この場合は、志望の順位を入学願書の所定欄に記入すること。

注3. 募集人員に社会人若干名を含む。社会人とは、官公庁、研究所、企業、病院等に勤務若しくは入学後勤務予定の者をいう。勤務中の者については勤務成績が優秀で、

入学後もその職を有する者をいう。

3 入学出願資格

- (1) 大学の医学、歯学又は獣医学を履修する課程（修業年限6年のものに限る。）を卒業した者又は平成28年3月までに卒業見込みの者
- (2) 大学院修士課程を修了した者又は平成28年3月までに修了見込みの者
- (3) 学位授与機構又は独立行政法人大学評価・学位授与機構により修士の学位を授与された者又は平成28年3月までに修士の学位を授与される見込みの者
- (4) 外国において、学校教育における18年の課程を修了した者又は平成28年3月までに修了見込みの者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程を修了した者又は平成28年3月までに修了見込みの者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 大学（医学、歯学又は獣医学を履修する課程に限る。）に4年以上在学し、又は外国において学校教育における16年の課程（医学、歯学又は獣医学を履修する課程を含むものに限る。）を修了し、本学大学院医学研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者
- (8) 本学大学院医学研究科において、個別の入学資格審査により、第1号に掲げる者と同等以上の学力があると認めた者で、平成28年3月までに24歳に達する者
- (9) 旧大学令による大学の医学又は歯学の学部を卒業した者
- (10) その他本学大学院医学研究科において、第1号に掲げる者と同等以上の学力があると認めた者

4 願書受付期間及び受付場所

(1) 願書受付期間

受付期間	平成27年9月29日（火）～平成27年10月9日（金） ただし、土、日曜日及び祝日を除く、午前9時から午後4時まで
------	--

* 郵送による場合も、同期間内に必着のこと。

(2) 受付及び試験事務取扱場所

〒641-8509 和歌山市紀三井寺811-1
和歌山県立医科大学 学生課 教務班 TEL (073) 441-0703

5 出願手続

出願者は、下記の提出書類を取り揃えて本学学生課に提出すること。郵送する場合は、必ず書留便によること。

また、事前に志望主科目（学位論文作成の基本となる科目）の指導教員の承諾を得ておくこと。

問い合わせ先 和歌山県立医科大学 学生課 教務班 TEL (073) 441-0703

提出書類	<ul style="list-style-type: none"> (1) 入学願書・・・本学所定のもの (2) 志望理由・・・本学所定のもの (3) 成績証明書・・・在籍又は出身大学長が作成したもの。ただし、本学医学部卒業（又は見込み）者は、提出不要。 (4) 卒業証明書又は卒業見込証明書（本学出身者は不要） (5) 大学院研究科修士課程修了（又は見込み）者は、その修了（又は見込み）証明書及び成績証明書 (6) 医師又は歯科医師免許証を有する者は、その写し。 (7) 写真2枚・・・出願前3か月以内に撮影したもの（正面上半身無帽で縦4cm×横3cm） (8) 受験票・写真票 			
社会人（2募集人員注3.参照）は上記出願書類に加え右の書類も提出	<table style="border: none;"> <tr> <td style="border: none;"> <ul style="list-style-type: none"> ア 受験許可書 イ 出願資格審査申請書 ウ 研究活動歴 エ 研究計画書 </td> <td style="border: none; vertical-align: middle; font-size: 3em;">}</td> <td style="border: none; vertical-align: middle;">本学所定のもの</td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> ア 受験許可書 イ 出願資格審査申請書 ウ 研究活動歴 エ 研究計画書 	}	本学所定のもの
<ul style="list-style-type: none"> ア 受験許可書 イ 出願資格審査申請書 ウ 研究活動歴 エ 研究計画書 	}	本学所定のもの		
検定料	<p>30,000円</p> <p>同封の振込依頼書を使用のうえ、金融機関窓口（ゆうちょ銀行を除く銀行、信用金庫、信用組合等）で振込み（電信扱い）のこと。 （振込手数料は、本人負担となります。） 振込み後、入学検定料振込金受付証明書（C票）を、入学検定料納付書に貼り付けること。</p> <p>※ 本学大学院の修士課程を修了し、2年以内に引き続き大学院の博士課程に進学する者については、検定料を徴収しないものとする。</p>			

※ 受験票の郵送を希望する場合は、受験票の返信用封筒（住所、氏名、郵便番号を表記し、書留速達料金を含む795円の郵便切手を貼った封筒を同封すること。）

6 試験科目、試験期日及び試験場

科目	学科試験及び面接	語学試験
期日時間		
平成27年10月21日(水)	14:00～17:00 基礎教育棟1階 講義室1	17:00～18:30 基礎教育棟3階 講義室2

(備考) ア 集合時間・場所は出願者に別途連絡する。

イ 学科試験は、志望する主科目（研究分野）に属する系において筆記試験又は口頭試問を行う。

ウ 語学試験は、「英語」とする。辞書は持ち込み可。(電子辞書は不可)

7 合格発表

平成27年11月17日(火)午後4時30分

本学内に掲示するとともに合格者本人あてに通知する。

8 入学手続

手続き期間	平成27年11月25日(水)～平成27年12月2日(水) ただし、土、日曜日及び祝日を除く、午前9時から午後5時まで
提出書類	(1) 卒業見込みで受験した者は、卒業証明書(本学出身者は不要) (2) 在学誓約書 本学所定のもの (3) 写真2枚 願書と同一のもの
入学金	282,000円 ただし、本学大学院の修士課程を修了し、2年以内に引き続き大学院の博士課程に進学する者については、入学金を徴収しない。

* 期日までに手続を行わなかったときは合格を取り消すことがある。

9 授業料

年額535,800円(毎年4月、10月の2回に分納する。)

10 その他

- (1) 受験者は、試験開始15分前までに試験場に参集のこと。
- (2) 出願手続後は、理由を問わず、検定料は返還しない。
- (3) 入学手続後は、理由を問わず、入学金は返還しない。
- (4) 募集要項、願書等は205円の郵便切手を封入の上、本学学生課へ請求のこと。(返信用封筒不要) ※出願書類は、本学ホームページ (<http://www.wakayama-med.ac.jp/nyushi/youkou/index.html>) よりプリントアウト可能。
- (5) 入学金、授業料等の額は、改定されることがある。在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用される。
- (6) 職業を有している等の事情により、標準修業年度を超えて、一定期間にわたり計画的に教育課程を履修し、課程を修了することを希望する場合に、長期履修制度を申請することができる。申請者は、入学後一ヶ月以内に学生課窓口へ申し出ること。
- (7) 本学では、出願及び入学手続きにあたって提出された個人情報、入学試験の実施、合格発表、入学手続き及び入学後の学生生活関連業務において使用します。本学が取得した個人情報は、第三者に提供することはありません。
- (8) 過去の入試問題の閲覧については、事務局学生課教務班(電話 073-441-0703)までお問い合わせください。

平成27年8月

公立大学法人和歌山県立医科大学大学院医学研究科

〒641-8509 和歌山市紀三井寺811-1

研究内容

専	領域	科目	指導教授	研究内容
地域医療総合医学	地域保健医学	環境保健予防医学	宮下和久 池田裕明	1 有害化学環境と物理環境による生体に対する複合影響に関する研究 2 手腕系振動の生体影響研究及び労働実態に関する調査研究 3 小児の発育・発達と生活環境要因との関連に関する縦断的研究 4 運動負荷に対する血圧反応性の評価とそれを用いた高血圧の早期発見に対する応用に関する研究 5 妊娠期の母親の生活習慣と児童の注意欠陥多動性障害に関する疫学研究 6 職域および地域住民の潜在的うつ病の早期発見とその対策
		公衆衛生学	竹下達也 武田好史	1 健康行動の遺伝的要因とその健康指標への影響 2 生活習慣病発症に関わる遺伝・環境要因の解析及びそのための数学的統計学的方法 3 食品由来物質による発癌抑制研究 4 人の健康と発達に関するライフコース疫学研究 5 医療従事者の生活習慣病発症要因に関する研究 6 地域住民における栄養摂取と健康度 7 心血管系リスク要因に関する疫学研究
		地域医療マネジメント学	上野雅巳	1 地域医療における患者受診行動に関する研究 2 医師偏在についての要因分析と解決策 3 地域における医療福祉の統合的サービスの研究 4 地域医療における医療リスクマネジメントの研究
	総合医療医学	放射線医学	(教授選考中) (教養物理学) 牧野誠司	
		臨床病態解析学	赤水尚史	1 新しい臨床検査の開発および臨床応用に関する研究 2 生活習慣病の成因に関する分子生物学的研究 3 超音波検査を用いる画像診断に関する臨床的研究 4 動脈硬化症の評価に関する臨床的研究
		精神医学	篠崎和弘	1 うつ病に対する反復経頭蓋磁気刺激治療の作用機作と臨床応用の研究 2 気分障害の脳構造・機能画像研究 3 自殺予防のための疫学・神経画像研究 4 統合失調症の神経生理学的研究 5 認知症の神経画像・神経生理学的研究
		リハビリテーション医学	田島文博	1 障害者の病態生理に関する研究 2 自律神経調整に関する研究 3 スポーツに関する研究 4 運動生理学に関する研究 5 環境生理に関する研究 6 物理療法に関する研究 7 高次脳機能に関する研究 8 温泉医学に関する研究 9 再生医学に関する研究 10 中枢性循環調整に関する研究
		麻酔科学	川股知之	1 麻酔機序に関する研究 2 痛みを含む体性感覚受容に関する研究 3 周術期ストレスに対する血管平滑筋機能変調に関する研究 4 周術期循環生理に関する研究 5 周術期神経機能に関する研究
		救急・集中治療医学	加藤正哉	1 急性呼吸不全の病態生理に関する研究 2 病院前救急システムに関する社会医学的研究 3 重症脳神経救急病態のモニタリングに関する研究 4 急性中毒の疫学と治療に関する研究 5 救急診療手技トレーニングに関する研究

専	領 域	科 目	指 導 教 授	研 究 内 容
地域医療総合医学	総合医療医学	総合内科学※	佐々木 秀 行	1 高血圧症、動脈硬化症に関する研究 ・脈波検査を用いた新しい動脈硬化症早期診断法の開発 ・自律神経機能の高血圧、動脈硬化症に及ぼす影響の解明 2 糖尿病に関する研究 ・糖尿病神経障害発症に関する疫学的研究 ・糖尿病小径線維障害（自律神経を含む）の早期診断法の開発 ・糖尿病自律神経障害の早期診断法の開発 3 肝疾患に関する臨床研究 4 呼吸器疾患に関する臨床研究
		総合外科学		
		法医学	近 藤 稔 和	1 皮膚損傷の微視的検査法の確立 2 皮膚損傷の受傷後経過時間判定に関する研究 3 皮膚創傷治癒におけるサイトカインの役割 4 薬剤性臓器障害におけるサイトカインの役割 5 ショック状態に関する細胞生物学的研究
		医学教育・集団医療学	羽 野 卓 三	1 医学教育学に関する研究 2 臨床技能教育に関する研究 3 集団医療学に関する研究 4 生活習慣病の予防・治療に関する研究
	生殖発達医学	生殖病態医学	井 篁 一 彦	1 婦人科腫瘍（子宮頸癌、子宮体癌、卵巣癌）の新規治療法の開発 2 婦人科癌の新規予後規定分子マーカーの同定と分子標的治療の開発 3 母子免疫および婦人科腫瘍免疫の寛容機構の分子メカニズムの解明 4 妊娠および絨毛性疾患における胎盤トロホブラストの研究 5 妊娠高血圧症候群と胎児発育不全の研究
		生殖保健学		
		発達小児医学	（教授選考中）	
		小児保健学		
	緩和医療専門医養成コース	緩和医療学	川 股 知 之	1 緩和医療における身体的症状緩和に関する研究 2 終末期に出現するスピリチュアルペインのアセスメント方法論 3 在宅ホスピス普及に対する教育機関の関与に関する研究 4 オピオイドの副作用に対する研究
	構造機能医学	形態機能医学	生体情報形態学	（教授選考中）
		分子機能形態学	森 川 吉 博	1 神経発達障害（自閉症など）や精神疾患（PTSDなど）の分子病態の解明 2 肥満、糖尿病、及び非アルコール性脂肪性肝疾患の分子メカニズムの解明とその治療法の開発 3 視床下部における摂食調節機構の解明 4 アレルギー疾患（アトピー性皮膚炎など）の病態解明とその治療法の開発 5 後根神経節や脊髄における感覚受容メカニズムの解明
		システム神経生理学	金 桶 吉 起	1 脳活動の周期的変動と機能的結合による種々の脳病態の神経基盤の解明 2 個性、人格の神経基盤の解明 3 視覚性運動知覚の機序の解明 4 大脳皮質と視床のループ連絡における感覚情報処理機構の解明 5 慢性痛における下行性疼痛調整系の機能変化の解明 6 ストレスによる感覚過敏のメカニズムの解明

〈注〉 科目欄の※印は紀北分院における設置科目である。

専	領 域	科 目	指 導 教 授	研 究 内 容
構造機能医学	形態機能医学	統合分子生理学	前 田 正 信	1 中枢性循環調節の研究：様々な新規ペプチドを脳へ微量注入することによる循環変化の観察 2 脳・心臓へタンパク質を直接導入した時の生体機能の変化の観察 3 概日リズムと肥満（時計を壊すと肥満になり、肥満になれば時計が崩れる）
		機能調節薬理学	岸 岡 史 郎	1 内因性疼痛制御機構 2 オピオイド鎮痛薬の耐性および依存形成機序；薬力学的および薬物動態的検討 3 オピオイド神経系とニコチン神経系の対話 4 神経因性疼痛の分子メカニズムの解析
	細胞分子機能医学	代謝生物化学	井 原 義 人	1 タンパク質におけるマンノース付加修飾のグリコバイオロジー 2 分子シャペロンの生物機能研究 3 タンパク質のレドックス（酸化・還元）調節による生物機能制御の研究
		細胞分子生物学	坂 口 和 成	1 増殖因子細胞内情報伝達系の分子生物学 2 神経幹細胞の増殖・分化に関する基礎研究 3 体格決定の分子機構 4 骨・軟骨代謝の分子生物学
		発生制御医学	山 田 源	1 器官形成プログラムの分子機構の解明 2 性差を示す根本的な分子発現機構の解明 3 細胞増殖因子系を中心としたシグナル伝達系に関する分子生物学的な解明 4 器官形成過程に組み込まれるメカニズムと細胞増殖異常や発癌等の病態との類似性、相違点の解明 5 生殖系器官系、前立腺、子宮などの器官形成、及びその病態の解明
		分子免疫学	改 正 恒 康	1 免疫恒常性の維持機構とその破綻による病態発症機構 2 免疫アジュバントの作用機序の解明 3 炎症を制御する分子基盤、細胞生物学的基盤の解明
		生体分子解析学	岩 橋 秀 夫	1 生体分子由来のフリーラジカルの構造決定および構造決定法の開発 2 新規抗酸化剤の検索および抗酸化剤によるフリーラジカル生成阻害機構の解明 3 生体化合物の分子間相互作用の研究
		病原微生物学	西 尾 真智子	1 パラミクソウイルスのアクセサリー蛋白の機能の解明 2 ウイルス蛋白と宿主蛋白の相互作用の解明 3 ウイルス感染細胞の生死を決定する機構の解明
		分子神経科学	平 井 秀 一	1 中枢神経細胞分化におけるストレス応答シグナル伝達系の役割に関する研究 2 中枢神経軸索再生を促進する分子の探索 3 上皮・神経組織形成を支えるシグナル伝達網の解析
		器官病態医学	糖尿病・内分泌代謝内科学	赤 水 尚 史
消化器内科学				

専	領域	科目	指導教授	研究内容
器官病態医学	器官病態内科学	呼吸器内科学	山本信之	<ol style="list-style-type: none"> 1 慢性閉塞性肺疾患の病態解明と新治療法の開発 2 気管支喘息の特異的治療法の開発 3 炎症性呼吸器疾患の非侵襲的病態モニタリングの確立 4 胸部悪性腫瘍に対する新規化学療法の開発 5 胸部悪性腫瘍に対する治療標的としての新規バイオマーカーの探索
		循環器内科学	赤阪隆史	<ol style="list-style-type: none"> 1 虚血再灌流による冠微小循環障害の病態解明と治療 2 冠動脈内画像診断による不安定プラークの同定 3 非侵襲的診断法による虚血性僧帽弁逆流の発生機序解明 4 虚血・動脈硬化における血管内皮前駆細胞の関与 5 カテーテル型センサーによる生体内一酸化窒素(NO)の病態解明
		神経内科学	伊東秀文	<ol style="list-style-type: none"> 1 神経変性疾患の分子神経病理学的研究 2 疾患特異的 iPS 細胞と剖検脳を用いた神経変性疾患の病態解明 3 筋萎縮性側索硬化症の神経変性機序解明と新規治療薬の開発 4 パーキンソン病とその類縁疾患における黒質細胞死抑制と再生に関する研究 5 封入体筋炎の病態解明と新規治療法の開発
		腎臓・体内環境調節内科学	重松隆	<ol style="list-style-type: none"> 1 進行性腎障害の予知とその検出法の検討—特にリン代謝と老化抑制遺伝子クロト—遺伝子の関与について 2 リン負荷による血管ならびに循環器系障害の発症機序の検討 3 生体内リンセンサーの探索 4 血管石灰化の病態と治療法の検討 5 次世代血液浄化療法の技術開発：全自動化の追求 6 腎性貧血における多施設共同研究：エリスロポエチン受容体刺激因子と治療効果並びに赤血球サイズの規定因子の検討 7 Low Density lipoprotein Cholesterol の積極的な低下療法による血管障害改善の研究 8 透析導入患者における多施設共同研究：透析導入基準ガイドライン策定の試み 9 血管炎としての急速進行性糸球体腎炎の臨床的検討 10 老化抑制遺伝子クロト—受容体としての Fibroblast Growth Factor23の骨組織における発現調節の検討
		血液内科学	園木孝志	<ol style="list-style-type: none"> 1 ダブルヒットリンパ腫にみられる8q24転座点の分子解析 2 Epstein-Barr virus 感染リンパ球の癌化機構 3 同種造血幹細胞移植後における血清中遺伝子発現プロファイル 4 同種造血幹細胞移植における NKG2D 介在性免疫の役割
器官病態外科学	胸部外科学	岡村吉隆	<ol style="list-style-type: none"> 1 不全心における左室リモデリング抑制の研究 2 冠動脈バイパス術におけるグラフト血流波形の分析 3 肺癌・乳癌における抗癌剤感受性試験に関する研究 4 肺癌転移の臓器特異性決定因子の検索 5 肺気腫の再生医療 6 乳癌に対するラジオ波熱凝固療法 	
		消化器外科学	山上裕機	<ol style="list-style-type: none"> 1 胃癌幹様細胞に対する癌治療用ウイルスの開発 2 直腸癌に対する抗癌剤放射線感受性遺伝子の解析 3 肝細胞癌におけるタンパクメチル化の影響 4 アディポネクチン動態からみた膵癌発癌機序 5 腫瘍抗原発現 iPS 細胞由来樹状細胞を用いた癌ワクチン療法 6 消化器癌の浸潤・転移における接着分子の役割

専	領 域	科 目	指 導 教 授	研 究 内 容
器官病態医学	器官病態外科学	脳神経外科学	中 尾 直 之	1 悪性脳腫瘍幹細胞に対する治療標的分子の探索 2 治療抵抗性グリオーマに対する化学療法の分子薬理学的検討 3 根治切除不能髄膜腫に対する個別化分子標的治療 4 脳虚血および血管内皮障害における血管内皮前駆細胞の役割の解明 5 脳機能マッピング法の開発と脳神経外科手術への応用
		整形外科	吉 田 宗 人	1 脊椎・脊髄変性疾患における自然経過および外科的治療に関する研究 2 脊椎内視鏡手術の基礎並びに臨床的研究 3 脊椎内視鏡手術のナビゲーションシステムの開発 4 脊髄機能モニタリングに関する臨床的研究 5 電気生理学的手法による病態解明の研究 5 バッチクランプ法による脊髄内疼痛伝達路の解明 6 地域コホートにおける脊椎変性疾患の疫学調査
		脊椎脊髄病学※	川 上 守	1 身体的、社会的、精神的機能評価を用いた各種脊椎疾患に対する手術のランダム化比較試験(randomized controlled trial: RCT)や比較臨床試験(controlled clinical trial: CCT)を行う 2 脊椎脊髄疾患の身体的、社会的、精神的機能を評価し、これらの機能改善のためのケアやサービス・プログラムの開発 3 脊髄・馬尾・神経根の障害による疼痛発現機序の解明と疼痛制御に関する研究 4 変性椎間板による疼痛発現機序の解明とその制御ならびに再生に関する研究 5 生体での脊椎ならびに神経系の3次元運動解析
		泌尿器科学	原 勲	1 尿路生殖器悪性腫瘍に対する腹腔鏡手術 2 精巣腫瘍に対する集学的治療 3 尿路上皮腫瘍の発生機序に関する研究 4 尿路結石症再発予防に関する研究 5 尿路生殖器悪性腫瘍に対する免疫遺伝子治療の基礎的検討 6 膀胱癌に対する BCG 療法の抗腫瘍効果のメカニズムに関する研究 7 膀胱全摘除術後の新膀胱造設術に関する臨床的研究
		形成外科学	朝 村 真 一	1 形成外科領域における低侵襲手術の開発 2 眼瞼下垂症手術における客観的視機能評価 3 眼瞼・眼窩の発生機序に関する研究 4 硬化療法を用いた動静脈奇形(血管腫)の臨床学的研究 5 顔面骨骨折に対する再生誘導治療の開発 6 難治性潰瘍に対する再生医療
感覚病態学	視覚病態眼科学	雑 賀 司 珠 也	1 後発白内障予防に関する研究 2 角膜創傷治癒に関する研究 3 糖尿病網膜症、加齢黄斑変性、網膜静脈分枝閉塞症などの眼底増殖性病変の研究 4 緑内障治療に関する基礎的研究	
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学			
	口腔顎顔面外科学	藤 田 茂 之	1 顎関節内障の病理組織学的病因解明 2 口腔癌患者に対するオーダーメイドな抗癌剤の計画投与を目標とする癌細胞の抗癌剤感受性に対する遺伝子発現の解析	
	皮膚病態学	古 川 福 実	1 膠原病病態の解明とモデルマウスの作成 2 アレルギー性疾患の病態解析(アトピー性皮膚炎、乾癬など) 3 ケミカルピーリングとストレス 4 自己炎症性疾患の解明 5 潰瘍治療への再生医学的アプローチ	

〈注〉 科目欄の※印は紀北分院における設置科目である。

専	領 域	科 目	指 導 教 授	研 究 内 容
器 官 病 態 医 学	病理病態学	分子病理学	村 垣 泰 光	1 創傷治癒および臓器線維化の分子機構 2 細胞外マトリックス遺伝子の発現と調節 3 先天性骨軟骨疾患の遺伝子変異と遺伝子機能の解析 4 骨格形態形成に関与する遺伝子の機能解析 5 癌の発生・進展における TGF- β シグナリング 6 血管石灰化の分子機構
		人体病理学	村 田 晋 一	1 組織・細胞形態異常の分子病理学的背景 2 間期細胞における染色体構造の解析 3 蛍光特性を応用した組織細胞化学的および分子病理学的解析法の開発と応用 4 診断病理学におけるパターン認識解析
	がん薬物療法 専門医養成コ ース	腫瘍内科学	山 本 信 之	1 悪性腫瘍に対する臨床研究の立案・実践 2 がん薬物療法の有害事象に対する支持療法の開発 3 悪性腫瘍に対する治療標的分子の探索と開発 4 悪性腫瘍に対する新規バイオマーカーの探索 5 ゲノム変異による発癌機構に関する基礎的・臨床的研究

平成28年度

和歌山県立医科大学大学院医学研究科（博士課程）入学願書

和歌山県立医科大学長 様

貴学大学院医学研究科に入学したいので、所定の書類を添えてお願いいたします。

平成 年 月 日

〒 - Tel () -

住 所

氏 名

印

専 攻		領 域		主 科 目		
(第一志望)						
(第二志望)						
氏 名			生 年 月 日			
(ふりがな)			年 月 日生			
本 籍 地		都 道 府 県		外国 人 籍 国 籍		
保 証 人 (父母またはそれに代わるべき者)	氏 名			年 齡	続 柄	
	現 住 所					
入 学 に 関 し 諸 通 知 を 受 け る 場 所						
入 学 資 格		年 月		大 学	学 部 卒 業 (見 込)	

備考 (1) 願書記入の際は募集要項熟読の上記入洩れのないようにすること。

特に志望専攻学科目の記入に注意すること。

(2) 履歴事項は裏面に記入すること。

(3) 出願者は事前に志望主科目の指導教員の承諾を得ておくこと。

履 歴 書

	年 月 日	事 項
学 歴 ・ 高 等 学 校 卒 業 以 上		
職 歴		
賞 罰		

上 記 の 通 り 相 違 あ り ま せ ン

平 成 年 月 日

氏 名

印

平成28年度
和歌山県立医科大学大学院
医学研究科（博士課程）入学試験
写 真 票

受験番号	※ 第 号
ふりがな 氏 名	
生年月日	年 月 日生
専 攻	
領 域	
主 科 目	
写 真 (縦4 cm×横3 cm)	
(注)※印の欄は記入しないこと	

平成28年度
和歌山県立医科大学大学院
医学研究科（博士課程）入学試験
受 験 票

受験番号	※ 第 号
氏 名	
専 攻	
領 域	
主 科 目	
試 験 日	平成27年10月21日(水)
試験時間	学科試験及び面接 14:00～17:00 語学試験(英語) 17:00～18:30
写 真 (縦4 cm×横3 cm)	
(注)※印の欄は記入しないこと	

切り離さないで提出してください。

博士課程用

和歌山県立医科大学大学院医学研究科

入学検定料納付書

受付番号	※	受験番号	※
受験者 (楷書で書いてください)			
住所			
(フリガナ) 氏名			
注意			
入学検定料30,000円を同封の振込依頼書で振込み、振込みを済ませた後、金融機関窓口で返還された書類のうち、入学検定料振込金受付証明書(C票)を、下欄に貼付してください。(取扱金融機関の収納印があることを、必ず確認してください。)			
入学検定料振込金受付証明書 (C票) 貼付欄			
(証明書貼付)			

(注) ※欄は記入しないでください。

受 験 許 可 書

氏 名

生年月日

上記の者が、平成28年度和歌山県立医科大学大学院医学研究科(博士課程)の入学試験を受験することを許可します。

平成 年 月 日

和歌山県立医科大学長 様

所在地

機関名

所属長 (職・氏名)

(印)

平成28年度
和歌山県立医科大学大学院医学研究科（博士課程）
出願資格審査申請書

平成 年 月 日

和歌山県立医科大学長 様

(ふりがな)
氏 名 Ⓜ

生年月日 年 月 日生 男・女

貴大学大学院医学研究科博士課程の出願資格審査について、所定の書類を添えて申請いたします。

志望する専攻 領域、主科目	第1志望	専攻	領域	主科目
	第2志望			
学 歴 (高等学校卒業 以降から記入)				
資 格	昭和・平成 年 月 日			
	昭和・平成 年 月 日			
職 歴	期 間	最終学校卒業後の経歴		
	昭・平 年 月～昭・平 年 月			
	昭・平 年 月～昭・平 年 月			
	昭・平 年 月～昭・平 年 月			
	昭・平 年 月～昭・平 年 月			
	昭・平 年 月～昭・平 年 月			
	昭・平 年 月～昭・平 年 月			
現 住 所	〒 Tel() —			
審 査 結 果 通 知 先	〒 Tel() —			

※ 添付書類（研究計画書、研究活動歴）

研 究 活 動 歴

		氏 名	
年 月	事 項		

注： 学会及び社会における活動等について、活動内容（研究発表等を含む。）及び期間を年次順に記入すること。

本様式に直接記入するか、本様式（A 4判）に準じてパソコン等により作成すること。

研究計画書

	氏名	
研究課題		
1. 年次計画		
2. 大学における主たる研究日		

注： 上記項目について、1～4年の学年毎に記入すること。

本様式に直接記入するか、本様式（A 4判）に準じてパソコン等により作成すること。

【大学院博士課程入学試験用】


(切り離して納付してください。)

A票 (大学院博士入学試験用)

和歌山県立医科大学医学研究科 入学検定料

電信扱

振込依頼書

ご依頼日	平成 年 月 日	電信扱	手数料													
先方銀行	紀陽銀行 紀三井寺支店	金額	千	円												
		金額	¥ 3 0 0 0 0 0													
受取人	普通預金 0627227	内訳	通貨													
	公立大学法人 和歌山県立医科大学		振替													
整理番号	←この数字はフリガナの前に打電すること (フリガナ)※		取扱金融機関収納印													
B00002			 3ヶ所押印													
ご依頼人	氏名	※								領収済印 又は 振替印						
	住所	※ 電話 ()														
			送信番号													

手数料振込人負担

金融機関で切り離して下さい

※印欄は必ず記入してください。

金融機関使用欄

[取扱金融機関へのお願い]

- 必ず、フリガナの前に整理番号を打電してください。
- B・C票は、必ずご依頼人へお返し下さい。

(取扱金融機関保存)

--	--	--

B票 (大学院博士入学試験用)

和歌山県立医科大学医学研究科 入学検定料

振込金(兼手数料)受領書


平成 年 月 日	手数料								
金額	千	円							
	金額	¥ 3 0 0 0 0 0							
先方銀行	紀陽銀行 紀三井寺支店								
受取人	普通預金	0627227	公立大学法人 和歌山県立医科大学 (フリガナ)※						
	公立大学法人 和歌山県立医科大学								
ご依頼人 (氏名)	※								

※印欄は必ず記入してください

上記金額、正に領収しました。
【取扱金融機関】

銀行
支店

(取扱金融機関→ご依頼人) 大切に保存してください。

取扱金融機関収納印

3ヶ所押印

C票 (大学院博士入学試験用)

和歌山県立医科大学医学研究科 入学検定料

振込金受付証明書

金額	千	円							
	金額	¥ 3 0 0 0 0 0							
先方銀行	紀陽銀行 紀三井寺支店								
受取人	公立大学法人 和歌山県立医科大学								
整理番号	B00002								
フリガナ	※								
氏名	※								

※印欄は必ず記入してください。

公立大学法人
和歌山県立
医科大学
医学研究科

(ご依頼人→大学) 貼付用

取扱金融機関収納印

3ヶ所押印

振り込み後自分で切り離してください

交通案内

- JR紀三井寺駅より徒歩約10分
- JR和歌山駅より和歌山バス利用
「医大病院」又は「医大病院前」停留所下車
約30分
- 南海和歌山市駅より和歌山バス利用
「医大病院前」停留所下車 約40分

